

## 令和3年度「埼玉青少年の意識と行動調査」等概要

### 1 調査の目的

本県の子ども・若者とその保護者の生活実態や考え方等を把握するとともに、県内の若者支援機関・団体の実態を把握し、今後の青少年行政に必要な施策の検討や、次期「埼玉県青少年健全育成・支援プラン」の基礎資料とする。

### 2 調査の考え方

- ・過去の調査（平成13年度からは5年ごとに実施）の質問項目にとらわれず、現在の青少年行政に必要な観点から、質問項目の見直しを行う。
- ・少年期の経験がその後の生き方考え方にどう影響しているか、また、親世代の人生観や経験が、子世代の生き方、考え方、生きづらさにどう影響しているか調査し、青少年の健全育成の施策検討につなげる。
- ・本県における困難を抱える若者の実態を調査し、必要な施策検討につなげる。

### 3 調査1 埼玉青少年の意識と行動調査業務委託

#### (1) 調査領域

埼玉県全域

#### (2) 標本数及び調査対象者

総数 約12,000標本

- ①令和3年4月1日現在で満10歳から14歳までの青少年 2,000人
- ②令和3年4月1日現在で満15歳から30歳までの青少年 2,000人
- ③令和3年4月1日現在で満31歳から39歳までの青少年 2,000人
- ④①～③までの保護者（②及び③のうち成人については、その同居の親（親が不在の場合、④は調査対象外） 約6,000人

#### (3) 設問数

フェースシート10問及び設問30問程度

#### (4) 調査方法

調査票は郵送、回答は郵送またはインターネットによる回答

#### (5) 主な質問項目

- ・家族や家庭について
- ・自分自身のことや悩みごとについて
- ・普段の生活について
- ・インターネットの利用状況について

#### 4 調査2 若者支援機関等に関するアンケート調査業務委託

##### (1) 調査領域

埼玉県全域

##### (2) 調査対象

主として埼玉県内で活動する支援機関・団体 30団体

##### (3) 設問数

ア 基本事項について 18問  
イ 支援内容・課題について 12問 計30問程度

##### (4) 調査方法

調査票は郵送、回答は郵送又はメール

##### (5) 主な調査項目

ア 基本事項  
・団体の組織・支援体制  
・支援対象分野  
・対象年齢  
イ 支援内容・課題  
・利用者が訪れるきっかけ  
・活動を今後も継続していくために必要なこと

#### 5 予算

11,887千円(委託料)

#### 6 スケジュール

調査実施 令和3年7月下旬からの4週間  
調査結果速報 令和3年9月下旬(24日(金)予定)  
最終報告 令和4年1月中旬(20日(木)予定)